

## <仕事と介護に関する従業員ニーズ調査結果報告書>

1. 現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について  
介護経験あり 25% 介護経験なし 75%  
※介護経験ありでも、現在は介護中の者はいない。
2. 今後の従業員の介護の見込みについて  
今後の介護の見込みは 100%  
※全社員が多少なりとも可能性があり、対策の必要性を感じた。
3. 就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について  
認知している 50% わからない 25% 制度はない 25%  
※認知は5割だが、認知に差があることがわかった。
4. 仕事と介護の両立に関する不安について  
不安あり 50% わからない 50%  
※社員間で意識の差がでている。若手社員は意識が低い。  
※不安の内容
  - ・公的介護保険制度の仕組みが分からないこと
  - ・適切な介護サービスが受けられるかどうか分からないこと
  - ・介護がいつまで続くのかわからず、将来の見通しを立てにくいこと
  - ・公的介護保険制度の要介護者となった場合、どのような状態になるのか予想がつかないので、漠然とした不安がある
5. 介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について  
短時間制度等を利用して仕事と介護を両立 50%  
介護に専念 25% 介護休業してから復帰 25%  
短時間制度等を利用して就業を続ける等、両立する意欲はある。